

# 行政改革に

目先のことにとらわれず、  
進むべき方向を見誤ることのないよう  
広い視野と長期的なビジョンをもって  
行政改革にまい進していただきたい



御前崎市行政改革推進委員会

き づかたみ お

委員長 **木塚民生**

## 市民の意識改革も必要

行政改革推進委員は、各種団体の代表や市民代表として市長から委嘱され、それぞれの委員が団体代表としての立場と一市民としての思いを持って取り組んでいます。

厳しい現状を乗り切るためには、どうしたら良いのかを考え、平成23・24年度は、補助金にスポットを当てました。委員は忙しい中、何十時間も費やし、事業の目的や問題を掘り起こしながら議論を重ね、方向性を導き出してきました。

誰もが行政改革の必要性を口にしますが、行政、議会、市民が根本から考え直さなければならぬ時期が来ているのではないのでしょうか。私たちは、これまで原子力発電所立地市としての恩恵を受けてきましたが、それが市民の心をゆがめてきたように思います。歴史的に見ても、過分な恩恵にあずかったところは、必ず沈んでいきます。それが地域の中にシステム化され、後々の世代に悪い結果として表れ、破綻していくのです。御前崎市が、そのプロセスをたどつ

てはなりません。市民の意識を変えることが重要です。目先の補助金を増やすとか減らすという問題ではないのです。一つの事業を切つて断面を見てみると体質や考え方がよく分かれます。一つの事業の中には、必ずムダやムリ、ムラがあります。

## リーダーシップに期待

5年先、10年先を見て、今、何をすべきか考えることが大切です。立派な公共施設を建てても、先々の維持費がどれほどかかるのか分からないのは困ります。子や孫の世代へ負担を強いることがないようにしなければなりません。

市民は、このことを日常の生活の中で分かっているはずですが、分かっているのは一部の人たちだけです。それを打ち破るエネルギーが無いといつまでも同じことの繰り返しになります。覚悟を持って行政改革をやるうとしてるのであれば、市長自ら強いリーダーシップを持つて、皆を引っ張っていくべきです。逃げることなく最後までやりきる覚悟で臨むことを強く期待します。